

2025.7

宇大生、消防体験をする

—もし大学生が火災に巻き込まれたら？—

Part2



県民の日イベントで、
女性団員の指導のもと
消防体験をしてきました！

【体験記録】

2025.06.15

県民の日イベント

防災・減災フェア



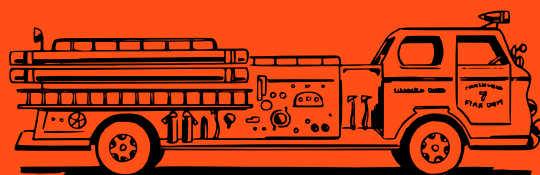
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



体験内容



6/15「県民の日記念イベント」にて、
とちぎ防災・減災フェアに参加してきました！

煙体験ハウス

テント内に火災時の煙が
充満した状況が再現されており、
煙の怖さや避難方法を学びました！

消火器体験

火に見立てたパネルを使って、
消火器の正しい使い方について
女性団員に教えていただきました。



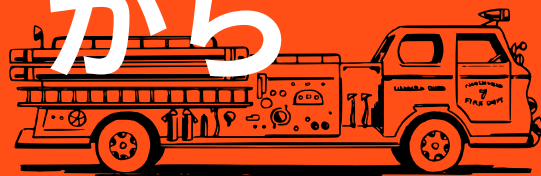
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



「VR防災体験車」から



「VR防災体験車」

リアルな災害現場を最先端のVRシステムで再現し、臨場感あふれる防災体験が可能な体験学習車両です！今回、私たちも体験させていただきました。

体験できる災害体験コンテンツは「地震」「火災」「風水害」の3編。

どれも刻一刻と変化する災害の状況をリアルタイムで体験できます。

「火災」を体験した小野瀬さんの感想

ゴーグルを装着し、気付くと私は一軒家にいました。テレビを見てみると、台所で出火していることに気がきます。足がすくみながら（実際に足元が揺れていました！）屋外へ逃げ出すと、家が爆発してしまいました！非常にリアルで、まるで炎の熱が伝わってくるようでした！

この体験を通して、火の不始末の危険性と火災への恐怖が体に刻まれました！



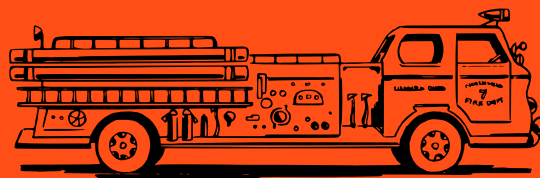
栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>



体験を通して



防災体験を通して

煙体験ハウスでの自分の手元すらまともに見えない状況や、VR防災体験車での勢いよく燃え広がる炎を前にどうすることもできない状況を体験してみて、災害に対する恐怖や警戒心が叩き起こされました。頭で理解するだけでなく、危機的状況を「体で感じる防災」がいかにかつてかを学び、実際に災害が起きるとしたら自分や周りの人を守るために何ができるか、今から何が準備できるかを改めて考えるきっかけになりました。

女性消防団員の方々へのインタビューを通して

女性消防団員の方へのインタビューでは、「音楽隊に入るために消防団に参加した」という方もいて、消防団の活動が多様であることを知りました。また「ママ友から消防団のことを知った。子育てをしながらでも活動できる環境がある。」とのお話もあり、どんな人でも無理なく続けられるように工夫されているというのは印象的でした。

活動のやりがいを探ねると「育ててくれた地域に恩返しができること」「一つの目的に向かって一生懸命に活動する仲間との時間が勉強になる」といったお話をいただきました。団員の年齢層は10代から60代と幅広く、世代や立場を問わずに協力し合える雰囲気があり、誰でも居心地よく活動できる組織だと分かりました。

イベント全体を通して

防災・減災や消防団員が行う活動は誰か特別な人だけが関わればよいものではなく、私たち一人ひとりが普段から意識し、真剣に取り組むべきものなのだと感じました。特に、女性消防団員の方々のお話を聞き、「女性が地域を支える仲間として活躍できる場がここにもある」と知れたことは大きな発見でした。

栃木県×宇都宮大学

詳細はwebで！

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/tiiki-bousai/documents/shobodanguidebook.pdf>

